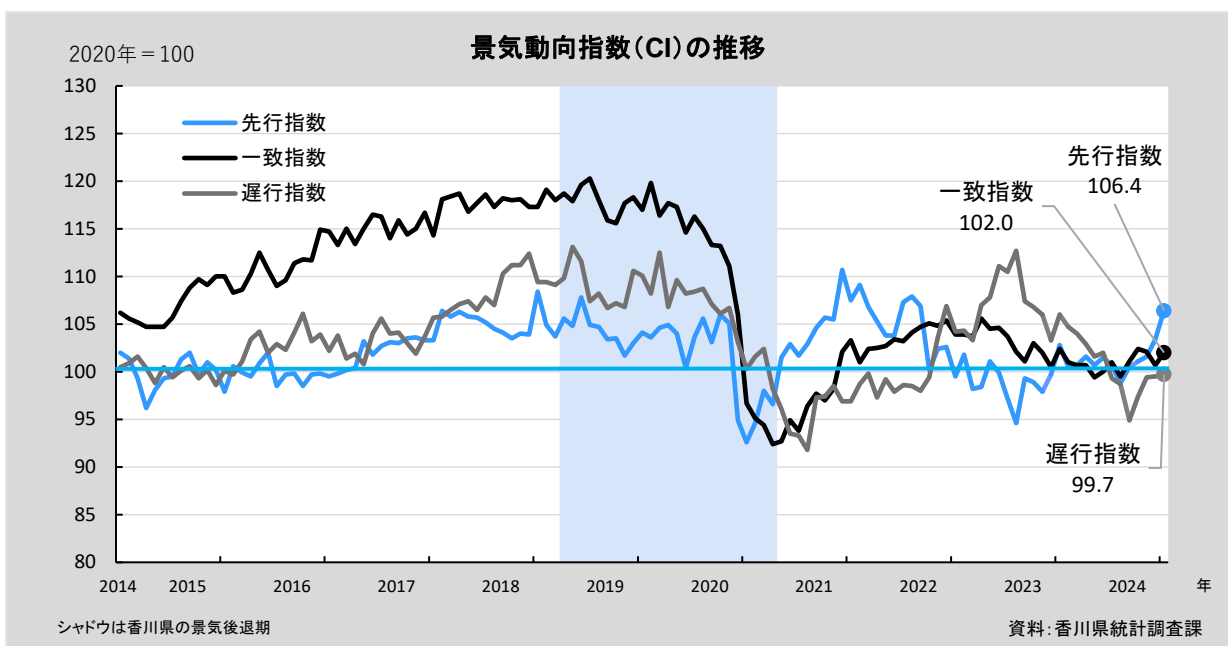


概況	景気は、持ち直しの動きが一服している。
個人消費	堅調に推移している。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直しの動きがみられる。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出、輸入ともに減少している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわCI) 一致指数 3カ月ぶり上昇



景気の現状をみると、5月のCI一致指数は102.0（前月比+1.3ポイント）と3カ月ぶりに上昇。CI先行指数は106.4（同+3.0ポイント）と5カ月連続で上昇。CI遅行指数は99.7（同+0.2ポイント）と4カ月連続で上昇。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、建築着工床面積、有効求人倍率等が上昇に寄与し、前月から1.3ポイント上昇となった。

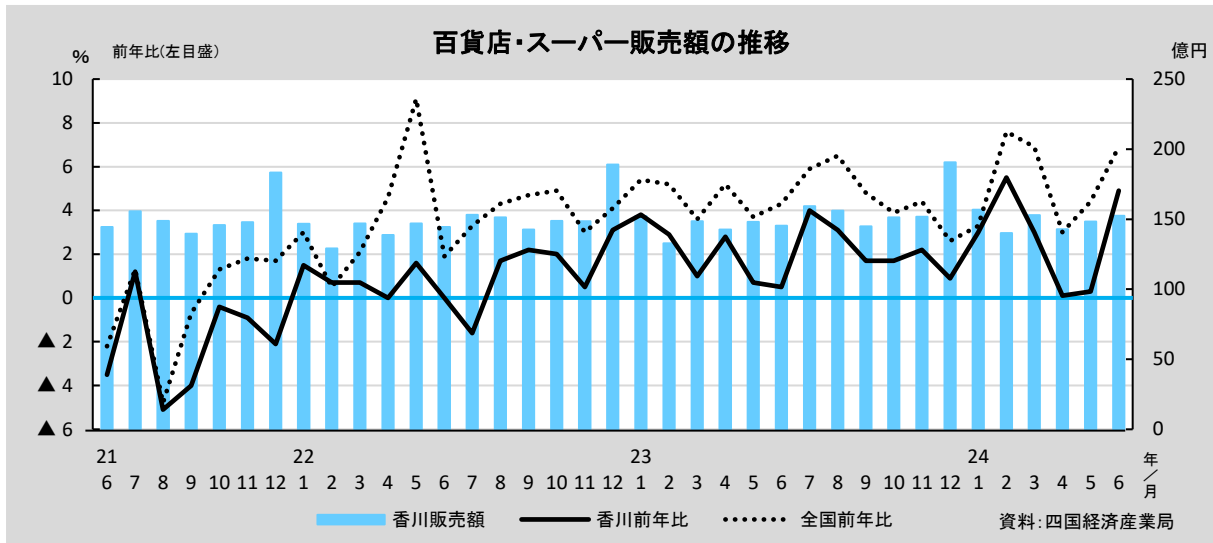
	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	0.21	1 雇用保険受給者実人員	0.15	1 常用雇用指数	▲ 0.35
	2 乗用車新車登録台数	0.90	2 有効求人倍率	0.43	2 有効求職者数	▲ 0.62
	3 鉱工業在庫率指数	0.21	3 所定外労働時間指数	▲ 0.28	3 消費者物価指数	0.47
	4 生産財生産指数	0.78	4 鉱工業生産指数	0.34	4 家計消費支出	1.34
	5 新設住宅着工戸数	1.11	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.08	5 鉱工業在庫指数	0.56
	6 金融機関貸出残高	0.90	6 建築着工床面積	0.78	6 法人事業税調定額	▲ 0.66
	7 消費者態度指数	▲ 0.84	7 百貨店・スーパー既存店販売額	▲ 0.03	7 第3次産業活動指数	▲ 0.36

個人消費

堅調に推移している

●百貨店・スーパー販売額

23 カ月連続増加 ↑

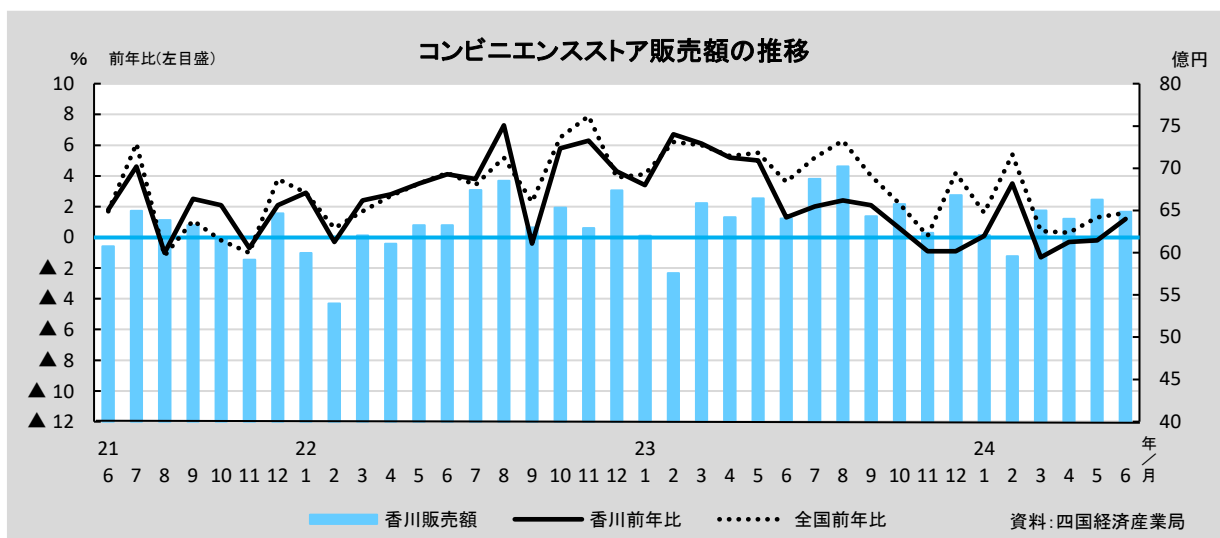


2024/6月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	120,622	76,585	1,095,693	2,265	5,162	70,170	153,523	411	1,524,431
前年同月比(%)	7.3	18.9	3.7	▲ 14.8	▲ 21.1	6.1	6.8	▲ 4.9	4.9

6月の百貨店・スーパー全店（83店）の販売額は152.4億円で、前年同月比+4.9%と23カ月連続で増加した。「身の回り品」は同+18.9%、「衣料品」は同7.3%と伸長し、「飲食料品」は同+3.7%と堅調に推移した。

●コンビニエンスストア販売額

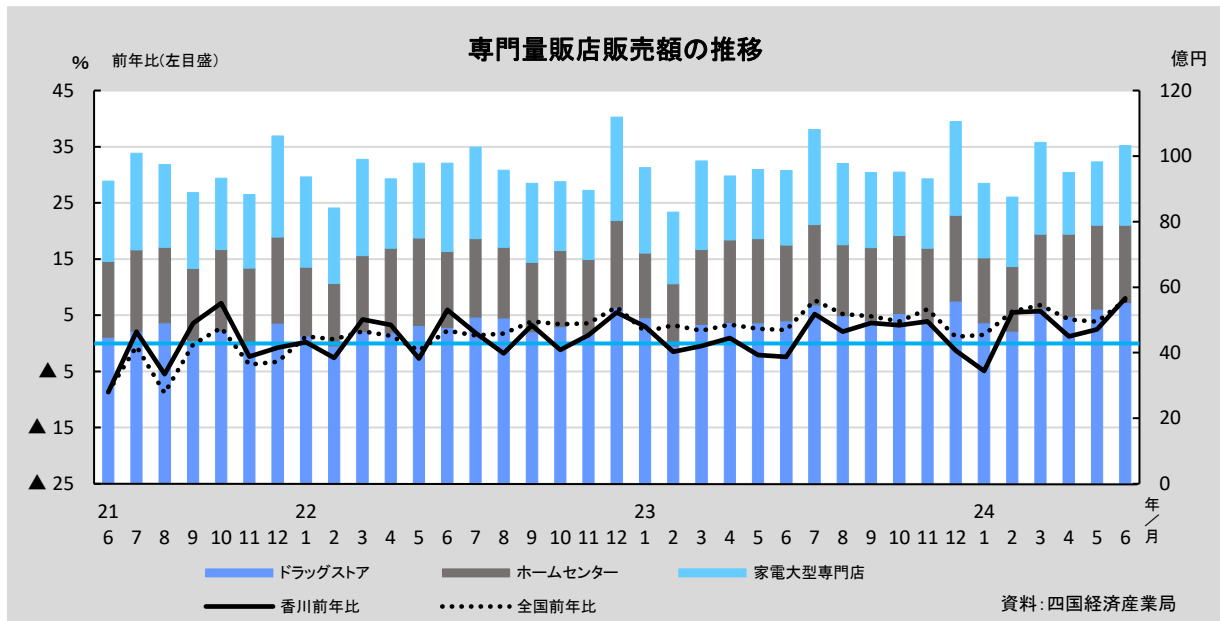
4 カ月ぶり増加 ↑



6月のコンビニエンスストア全店（402店）の販売額は64.8億円で、前年同月比+1.2%となり、4カ月ぶりに増加した。

●専門量販店販売額

5 カ月連続増加

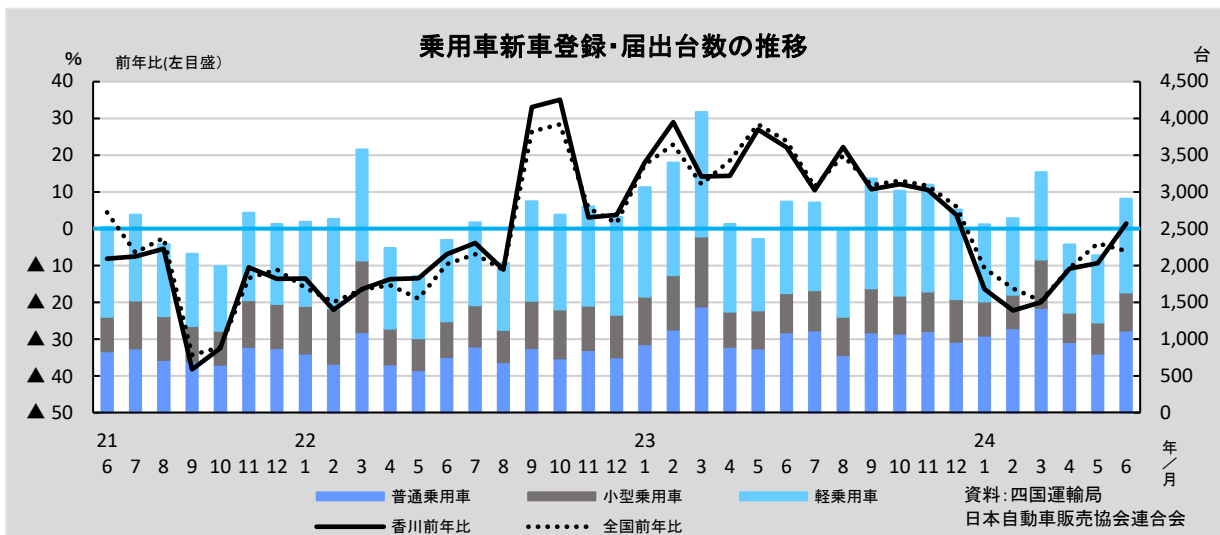


6月の専門量販店全店（221店）の販売額103.2億円で、前年同月比+8.0%と5カ月連続で増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（28店）の販売額は、24.3億円で前年同月比+7.1%となった。**ドラッグストア**（146店）の販売額は、55.3億円で同+11.1%となった。**ホームセンター**（47店）の販売額は、23.7億円で同+2.3%となった。

●乗用車新車販売台数

6 カ月ぶり増加



6月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,910台で、前年同月比+1.5%と6カ月ぶりに増加した。

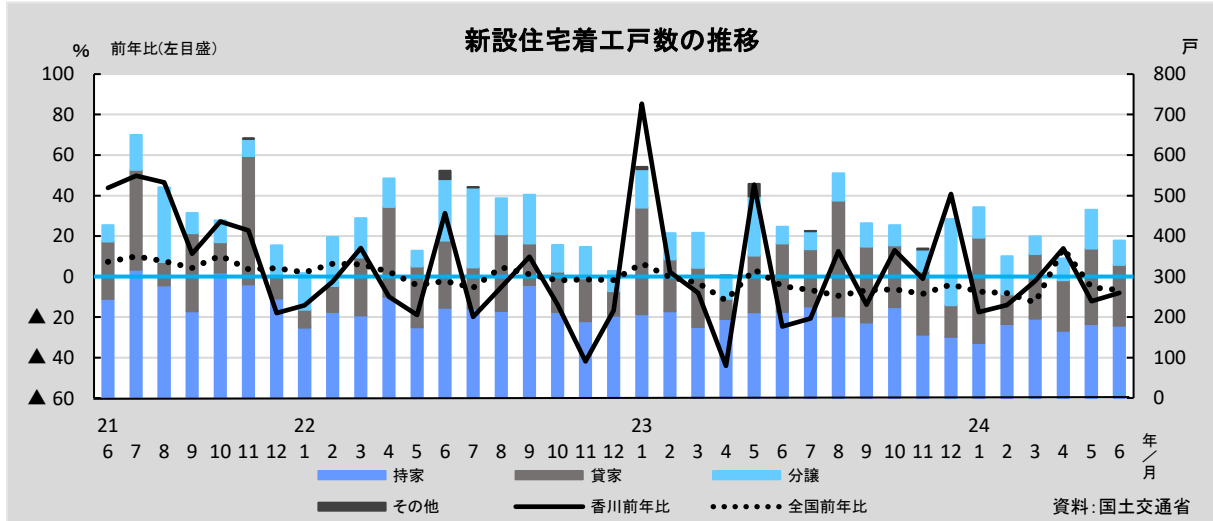
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比+2.2%、小型乗用車は同▲2.4%、軽乗用車は同+2.5%となった。

住宅投資

低調に推移している

●新設住宅着工

2 カ月連続減少 ↓



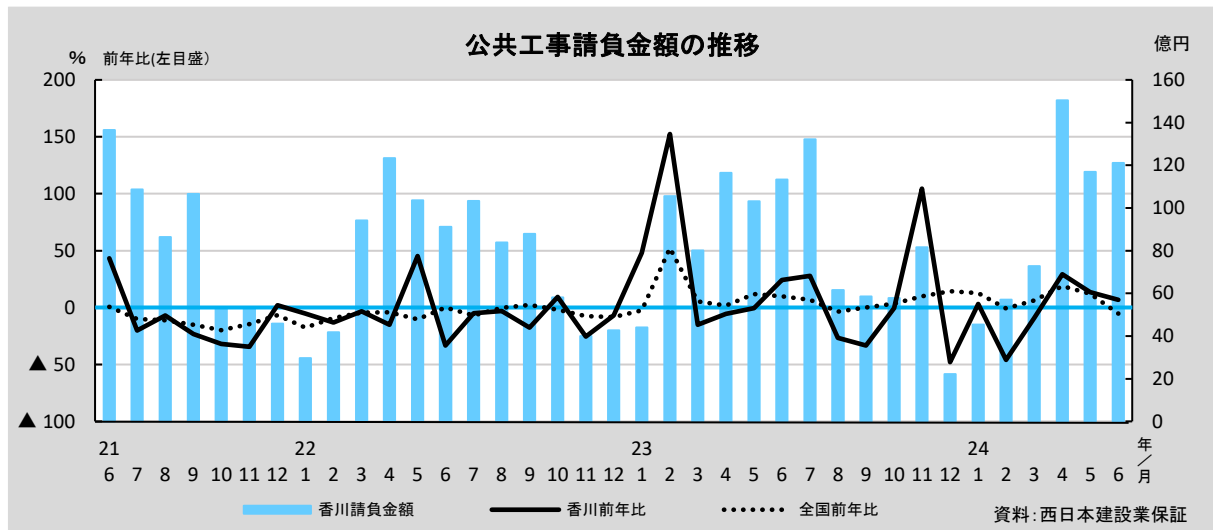
6月の新設住宅着工戸数は389戸で、前年同月比▲8.0%と2カ月連続で減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲16.0%、**貸家**で同▲11.2%、**分譲住宅**で同+46.3%となった。

公共投資

持ち直しの動きがみられる

●公共工事請負金額

3 カ月連続増加 ↑



6月の公共工事請負金額は121.1億円で、前年同月比+6.8%と3カ月連続で増加した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比+54.5%、**県**で同+7.3%、**市町**で同▲6.8%となった。

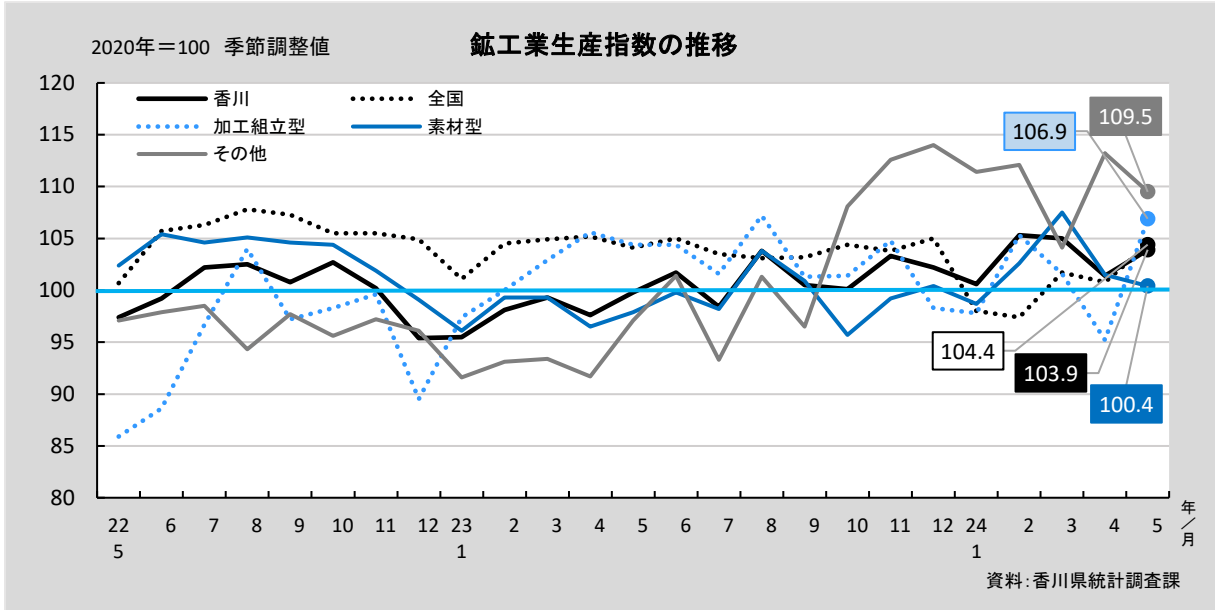
2024.4月～6月の累計では前年同期比16.7%増加している。

生産活動

横ばい圏内の動きとなっている

● 鉱工業生産指数

3 カ月ぶり上昇 ↑



5月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は103.9（前月101.4）となり、3カ月ぶりに上昇した。

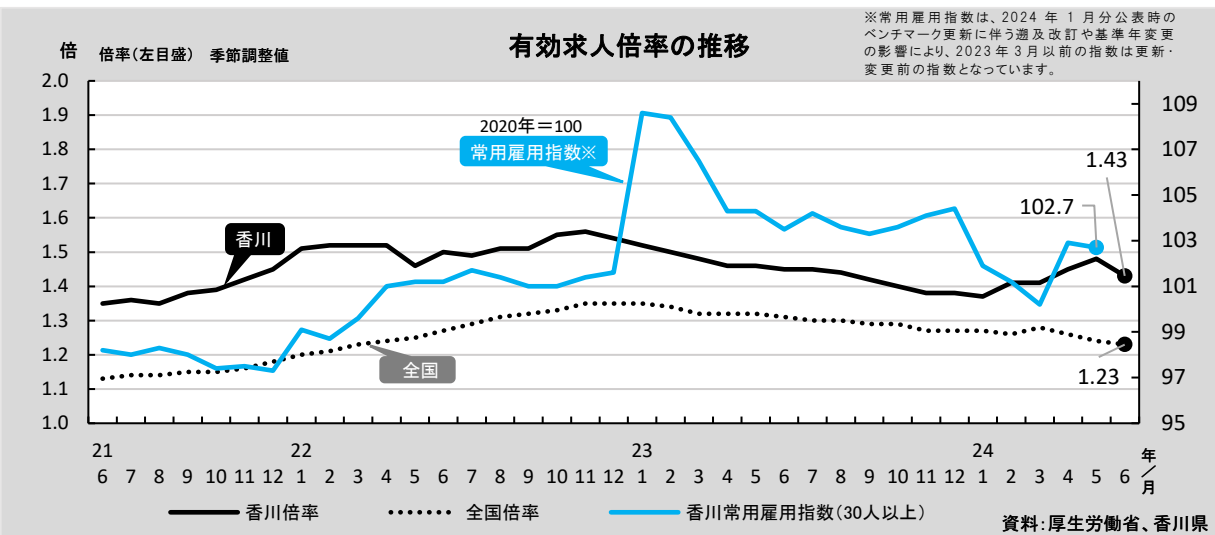
業種別では、加工組立型の輸送機械工業（鋼船など）は前月比+29.8%、素材型の金属製品工業（アルミニウム製建具など）は同+12.6%と上昇した。一方、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は同▲18.0%と低下した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

5 カ月ぶり減少 ↓



6月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.43倍（全国5位）で前月より0.05ポイント低下した。

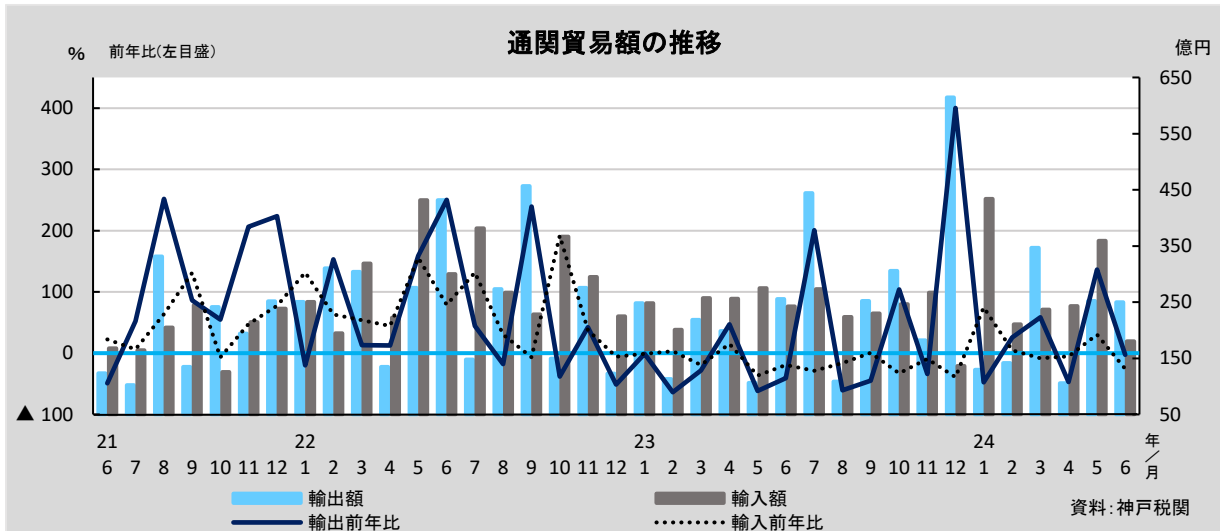
新規求人（原数値：前年同月比）は、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、製造業等で減少となり、全体で▲10.5%と3カ月ぶりに減少した。

5月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、102.7となり、前年同月比は5カ月連続で減少した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	1.91
事務的職業	0.56
販売の職業	2.34
サービスの職業	3.24
生産工程の職業	2.41
輸送・機械運転の職業	2.29
建設・採掘の職業	6.51
運搬・清掃・包装等の職業	1.11

貿易

輸出、輸入ともに減少している



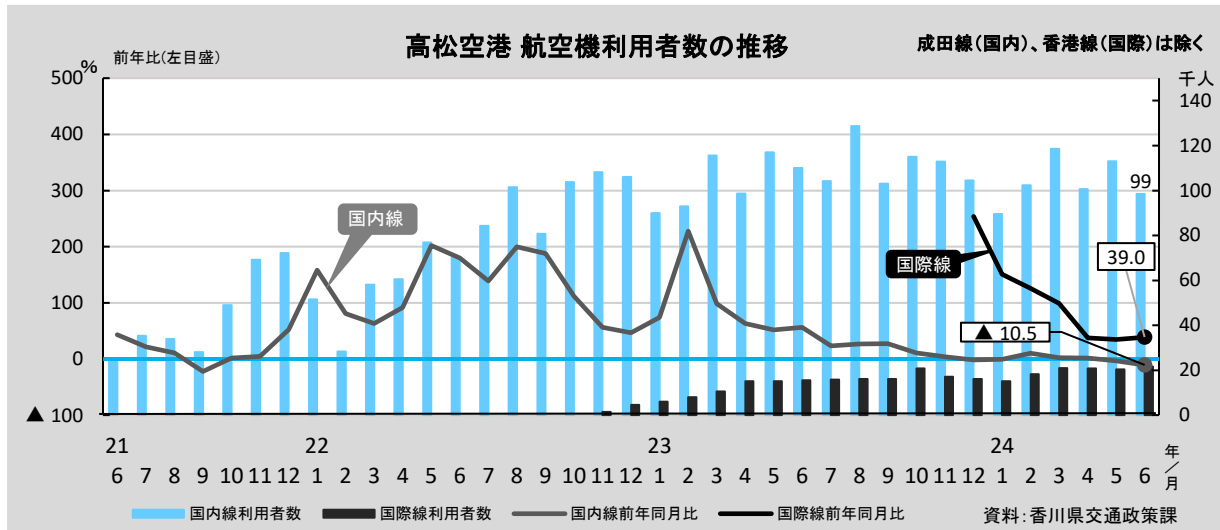
6月の輸出額は前年同月比▲2.3%の249.9億円、輸入額は同▲25.5%の180.5億円となり、差し引き69.4億円の出超となっている。

輸出は、前年同月54億円だった石油製品輸出額がゼロとなった。輸入は、液化石油ガス輸入額が前年同月比▲84.2%の68億円となった。

交通

国内線は2カ月連続減少、国際線は8カ月連続増加

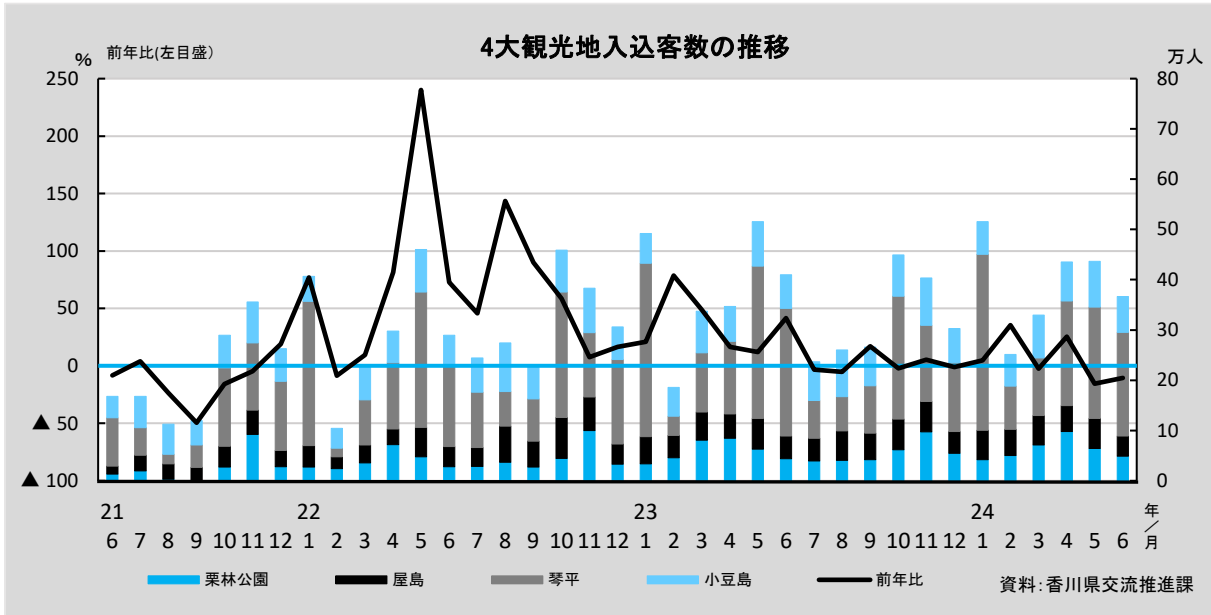
●高松空港旅客輸送実績



6月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が98,553人(前年同月比▲10.5%)となり、2カ月連続で減少した。羽田線は87,555人(同▲14.0%)、那覇線は10,998人(同+33.5%)となった。

国際線は、ソウル線10,494人(同▲2.5%)、上海線5,322人、台北線5,872人(同+21.4%)で合計21,688人(同+39.0%)と8カ月連続で増加した。

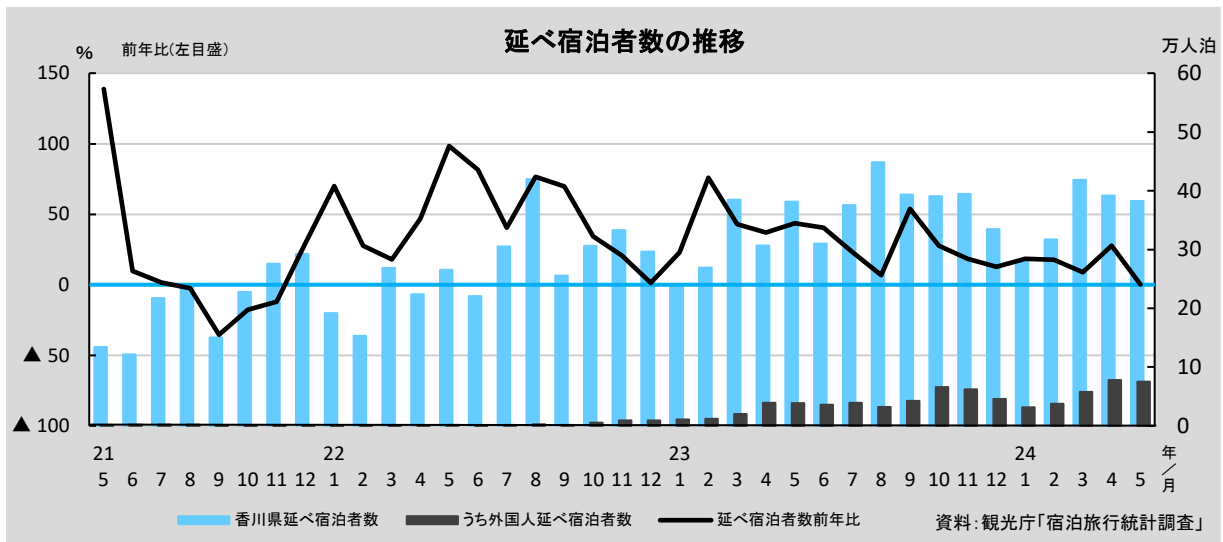
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計					
6月(人)	前年同月比	48,680	▲10.9%	40,372	▲9.9%	206,000	▲18.9%	71,589	7.0%	366,641	▲10.5%
1~6月累計(人)	前年同期比	374,084	6.3%	320,835	3.9%	1,187,000	▲1.2%	452,657	6.5%	2,334,576	2.1%

6月の主要観光地の入込客数は、前年同月比▲10.5%と2カ月連続で減少した。栗林公園は前年同月比+10.9%、小豆島は同+7.0%と増加したものの、屋島は同▲9.9%、琴平は同▲18.9%と減少した。1~6月の累計では前年同期比+2.1%となった。

●延べ宿泊者数



5月の延べ宿泊者数は382,580人で、前年同月比+0.2%と30カ月連続で増加した。うち、外国人延べ宿泊者数75,270人となり、前年同月比+93.5%と22カ月連続で増加した。